

羽陽学園短期大学 令和5年度入学者選抜試験問題・出題意図

学校推薦型選抜（指定校）

■口頭試問

<内容>

複数の担当者による個人試問の形式で、高校までに学んだ幼児教育及び福祉に関する基礎的な知識について問う。

<意図>

個人試問の形式で実施する口頭試問における、複数の口頭試問担当者からの質問への応答を通して、本学の修学に必要な基礎的能力をはかる。幼児教育及び福祉に関する知識、及び知識を活用した分析力を有しているか、質問内容に即した説明を的確に行えるか（「知識・技能」）が、評価の観点となる。

学校推薦型選抜（一般）

■小論文

<試験問題>

加藤諦三 著 「自信と劣等感の心理学」 だいわ文庫 より抜粋

（この部分につきましては、著作権の関係上HPでは公開しておりません。）

〔問題〕 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一、 この文章の要旨を 200 字以内でまとめなさい。

問二、 傍線部分の「結果だけでなく過程を重視する」ことについて、これまでの経験を踏まえて、あなたの意見を 600 字以内で述べなさい。

<出題意図>

・問一

出題文で述べられている筆者の考えの要約を通して、受験生の読解力と、所定の字数で筆者の考えを説明する文章を作成するための知識・技能をはかる。結果だけでなく過程を重視することについての理解（「思考力・判断力」）と、筆者の考えに沿って的確にまとめられるか（「知識・技能」）が、評価の観点となる。

・問二

「できるようになった結果」ではなく、「その過程における気づきや成長」の重要性について、受験生自身の考えを明確にした上で、その理由を自身の経験を基に論じることを通して、論を展開するための知識・技能、論理的思考力や判断力、文章表現力を測る。また、自らの考えについて、整合性のある理由を挙げて説明し（「思考力・判断力」）、的確に論じることができるか（「知識・技能」「思考力・表現力」）が、評価の観点となる。

学校推薦型選抜（一般） 追試験

■小論文

<試験問題>

柳川範之 著 「東大教授が教える知的に考える練習」 草子社文庫 2021年 より抜粋

(この部分につきましては、著作権の関係上HPでは公開しておりません。)

[問題] 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一、 この文章の要旨を 200 字以内でまとめなさい。

問二、 傍線部分の「試行錯誤しながら少しずつ向上していくことに、ある種の楽しみを見出す」についてどのように思いますか？あなたの意見を、これまでの経験を踏まえて、600 字以内で述べなさい。

<出題意図>

・問一

出題文で述べられている筆者の考えの要約を通して、受験生の読解力と、所定の字数で筆者の考えを説明する文章を作成するための知識・技能をはかる。考えることの意味と楽しさについての理解(「思考力・判断力」)、筆者の考えに沿って的確にまとめられるか(「知識・技能」)が、評価の観点となる。

・問二

「試行錯誤しながら少しずつ向上していくことに、ある種の楽しみを見出す」についての受験生自身の考えを明確にした上で、その理由を自身の経験を基に論じることを通して、論を展開するための知識・技能、論理的思考力や判断力、文章表現力をはかる。自らの考えについて、整合性のある理由を挙げて説明し(「思考力・判断力」)、的確に論じられるか(「知識・技能」「思考力・表現力」)が、評価の観点となる。

総合型選抜

■自己紹介文

<試験問題>

「今まで頑張ってきたこと」について、200 字以内で述べなさい。

<出題意図>

これまでの努力事項についての論述を通して、自分の長所を把握して明確に記述するための知識・技能、思考力、判断力、文章表現力をはかる。これまでの努力事項を具体的に把握し、所定の字数で的確に表現できるか(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」)が、評価の観点となる。

■口頭試問

<内容>

複数の担当者による個人試問の形式で、高校までに学んだ幼児教育及び福祉に関する基礎的な知識について問う。

<出題意図>

個人試問の形式で実施する口頭試問における、複数の口頭試問担当者からの質問への応答を通して、本学の修学に必要な基礎的能力をはかる。幼児教育及び福祉に関する知識、及び知識を活用した分析力を有しているか、質問内容に即した説明を的確に行えるか（「知識・技能」）が、評価の観点となる。

第一期一般選抜・第一期社会人選抜

■国語

<試験問題>

別紙に掲載

<解答>

別紙に掲載

■小論文

<試験問題>

佐藤芳直 著 「わが子へ伝えたい 11 の歴史 日本はこうして世界から信頼される国になった」 プレジデント社より抜粋

（この部分につきましては、著作権の関係上HPでは公開していません。）

〔問題〕 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一、 この文章の要旨を 200 字以内でまとめなさい。

問二、 傍線部分の「福の種を蒔くような生き方」とはどのような生き方か、あなたの経験も踏まえて 600 字以内で述べなさい。

<出題意図>

・問一

出題文で述べられている筆者の考えの要約を通して、受験生の読解力と、所定の字数で筆者の考えを説明する文章を作成するための知識・技能をはかる。福の種を蒔くような生き方についての理解（「思考力・判断力」）と、筆者の考えに沿って的確にまとめられるか（「知識・技能」）が、評価の観点となる。

・問二

福の種を蒔くような生き方を見つめることで「自分自身の生き方が未来に影響を及ぼす」ことの重要性についての受験生自身の考えを明確にしたで、その理由を自身の経験を基に論じることを通して、論を展開するための知識・技能、論理的思考力や判断力、文章表現力を測る。また、自らの考えについて、整合性のある理由を挙げて説明し（「思考力・判断力」）、的確に論じることができるか（「知識・技能」「思考力・表現力」）が、評価の観点となる。

第二期一般選抜・第二期社会人選抜

■小論文

<試験問題>

中西信男 著 「ナルシズム」講談社現代新書 より抜粋

（この部分につきましては、著作権の関係上HPでは公開していません。）

〔問題〕 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一、この文章の要旨を 200 字以内でまとめなさい。

問二、傍線の部分「人間関係はギブ・アンド・テイクという相互作用から成立している」とはどういうものかを、あなたの体験を交えて 600 字以内で説明しなさい。

<出題意図>

・問一

出題文で述べられている筆者の考えの要約を通して、受験生の読解力と、所定の字数で筆者の考えを説明する文章を作成することで、受験生の知識・技能をはかる。価値観の違う人とのコミュニケーションを取る意味についての理解(「思考力・判断力」)、筆者の考えに沿って的確にまとめられるか(「知識・技能」)が、評価の観点となる。

・問二

「人間関係はギブ・アンド・テイクという相互作用から成立している」について、受験生自身の考えを明確にした上で、その理由を自身の体験を基に論じることを通して、論を展開するための知識・技能、論理的思考力や判断力、文章表現力をはかる。自らの考えについて、整合性のある理由を挙げて説明し(「思考力・判断力」)、的確に論じられるか(「知識・技能」「思考力・表現力」)が、評価の観点となる。

全ての入学者選抜試験

■面接

<内容>

複数の担当者による個人面接の形式で、幼児教育及び福祉、社会問題に対する関心、将来への展望、向学心等について問う。

<意図>

個人面接の形式で実施する面接における、複数の面接官からの質問への応答を通して、自己分析力、受験生の幼児教育及び福祉への関心の高さ、学業修得の熱心さ、コミュニケーション力をはかる。質問の意味を理解し、自分の考えを的確に表現できるか(「思考力・判断力・表現力」)、幼児教育および介護福祉への関心の高さ、学業修得の熱心さ、知的好奇心の強さ、自分を育てる意欲の強さ、協働性が認められ本学における学修への意識や姿勢が適格なものであるか(「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)が、評価の観点となる。